

2006/6/12

DGS-3400 シリーズが、INTEROP2006 TOKYO「Best of Show Award」の プロダクトアワード部門インフラ構築製品 (Edge)で特別賞受賞しました。

ディーリンクジャパン株式会社(本社:東京都港区港南 代表取締役社長 大久保 融)は、幕張メッセで開催された「Interop Tokyo 2006」(開催期間:2006年6月7日~9日)において、10ギガビットアップリンク付スタックブル L2 プラス・ギガビットスイッチ xStack DGS-3400 シリーズ 4機種(DGS-3426、DGS-3426P、DGS-3427、DGS-3450)が、「Best of Show Award」の「プロダクトアワード」部門「インフラ構築製品(Edge)」分野で特別賞を受賞しました。

<http://www.interop.jp/info/bsa/index.html>



xStack DGS-3400 シリーズ

xStack DGS-3400 シリーズは、RoHS指令対応で、環境に考慮した製品です。又、1Uサイズのコンパクトなサイズで高密度なポート構成を実現。さらに最大 12 台までスタック可能なスケイラビリティに富んだ製品です。GUI ベースの SIM(Single IP Management)がネットワーク上に混在する機器の一元管理を実現し、運用・管理も効率化。10ギガビットアップリンク(最大 3 ポートまで搭載)により動画も音声もデータもスムーズ転送します。10ギガビットスイッチの新たな可能性を生み出します。

DGS-3426 は 10/100/1000Base-T(自動認識)を 24 ポート+SFP 4 ポート(Combo)、スイッチの背面に 10ギガビットアップリンク 2 ポート装備。

DGS-3426P は 10/100/1000Base-T(自動認識)を 24 ポート(PoE 対応)+ SFP 4 ポート(Combo)、10ギガビットアップリンク 2 ポート装備。

DGS-3427 は 10/100/1000Base-T(自動認識)を 24 ポート+SFP 4 ポート(Combo)、10ギガビットアップリンク 3 ポート装備。

DGS-3450 は 10/100/1000Base-T(自動認識)を 48 ポート+SFP 4 ポート(Combo)、10ギガビットアップリンク 2 ポート装備。

尚、今回の展示会において **Interop** ブース(ブース No.6F01)と **IMC** ブース(ブース No.7K04)とを HDV over IP 伝送装置 **DMC-1253A** と L2 プラス・ギガビットスイッチ **xStack DGS-3427** 及び **DGS-3426** を用いて Shownet 間で接続し、ハイビジョン映像転送を IP で実現しました。

機器構成図

